



---

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

---

法事の功德を  
めぐらし向ける  
ソナエルproject  
えこう<sup>まい</sup>米  
共に支え合う  
社会を実現する  
ための選択肢

---

検査庵 × 入倉米穀

---

# 法事の功德をめぐらし向ける

ご法事のお供えは、花・菓子・果物などを用意しますが、古来より供養された品は仏さまからのお下がりとして頂戴し、参列者で食し分かち合うという考え方があります。この分かち合う範囲を「参列者だけ」から「どこかの必要な方」まで広げることで地域の課題解決に貢献することができ、更にはあなた自身の仏道修行の実践になるとしたらいかがでしょうか？

## 曹洞宗 ソナエルproject とは —

茅野市社会福祉協議会など、私どもが住む地域の課題解決に取り組む団体にお供物を寄贈する取り組みです。

故人への供養と地域の困難をつなぐことで、社会に慈悲の循環(えこう)をつくっていくことは、菩薩行の実践となるはず。ひとり親家庭への支援、防災のための備蓄、子ども食堂への食材提供など、多くの課題が考えられます。

「ほとけさま」へ供えるソナエル行為を通して施主は徳を身に具えるソナエル。お供えされた供物が循環していくことで社会は安心を備えるソナエル。

曹洞宗ではこの取り組みを「ソナエル project」と名付け、慈悲の循環を広げる活動を実践して参ります。



**えこう**  
回向とは、善行の功德を世界中にめぐらし向けることです。つまり、お供え物を参列者以外にも分かち合うことは、法事の功德を回向することでもあり、これが菩薩行の実践へと繋がります。

この度、茅野市宮川の入倉米穀さまに活動の主旨を説明した処、協力を快諾して下さいました。法事の日時をお伝えすれば検校庵や自宅まで「えこう米(お供物のお米)」を配送無料でお届け頂けます。

供養されたお米はお寺が社会福祉協議会へ届けます。そこから市内の各子ども食堂や生活困窮世帯などお施主様の希望される支援先へと配られ、支援を求める人々の為に利用されるという流れです。

もちろん、従来通りの方法でお供物を準備し分け合っただけで構いません。あくまでも、選択肢のひとつとしてこのような活動を始めたことをご知らせさせて頂きます。ご希望される方は、法事申し込みの際に「えこう米」を希望する旨をお伝えください。共に支え合う世界はお釈迦さまの願いです。

令和5年8月 検校庵



入倉米穀 0266-72-2312  
検校庵 0266-72-3058

